



おとひめ

令和8年4月22日(水)



今年度の学校経営方針について 山口小学校長 吉村 康介

前号でもお伝えしたように、山口小学校は令和9年度から新しい学校として歩み始める予定で、近隣3校の統合に向けた準備が進んでいます。そのため、計画が予定どおり進めば、今年度をもって山口小学校は閉校となります。「閉校」という言葉には、どうしても寂しさや名残惜しさが伴いますが、私はこの一年を“終わりへのカウントダウン”ではなく、未来へ向かう“始まりへのカウントダウン”の一年にしたいと考えています。今回は、その「始まり」に向けて、どのような学校づくりを進めていこうとしているのか、概要をお伝えします。紙面に限りがあるため、すべてを詳しくお伝えすることは難しいのですが、昨年度から引き続き大切にしていこうと、そして今年度さらに強化・新たに取り組むことを中心にまとめました。

【学校経営目標】

「未来につながる学び、ふるさとにつながる心」を育む ～自信づくり・絆づくり・誇りづくり～

【重点と方途】

I 未来につながる学び

- ① 今後、大人数での学習が始まることを見据え、「自分で考えて解決する力、仲間と協働して解決する力」を育てる授業をこれまで以上に大切にします。少人数であるがゆえに起こりがちな「教師が手を出しすぎる授業」からの脱却を図り、子どもが主体となる学びを進めていきます。
- ② これまで山口小の重点としてきた「自分で考え、理由をもって伝える力を育てる学習」を継続するとともに、大人数での生活に向けて、自尊感情やソーシャルスキルを育む新たな学習・活動を導入します。
スリンプログラム(自尊感情とソーシャルスキルを育む活動)、専門家によるコミュニケーション授業の実施
※コミュニケーション授業については、昨年度末に保護者の方から実施のリクエストをいただいております。
- ③ 多様な学習の場、豊かな体験の場を精選しつつ、一層の充実を図ります。
ふるさと先生による学習、オープンスクール(山口小タイム)、外部人材の活用、やさか3小学校の交流
- ④ 自分で目標を立て、振り返り、次につなげる力を育てていきます。
自己課題の可視化と、目標達成のための自己管理を図る「自分見つけノート(6年生はフォーサイトノート)」の活用と見届け

II ふるさとにつながる心

- ① 総合的な学習の時間(三智)における「ふるさと学習」を継続し、ふるさとへの愛着を一層高めます。また、学習の集大成として、フィナーレにふさわしい学習発表会(仮称:感謝の会)を行います。
- ② 「学校は地域とともにある」という考えを常に大切にし、開かれた学校づくりを一層推進します。子どもたちが地域に出ていく活動も積極的に進めていきます。
学校公開の充実、ジュニアボランティア「TEAM やまぐち KIDS」の活動推進、開かれた学校に相応しい美しい学校